

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-4 治安対策の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	地域課長 高尾 羊一	電話番号	0852-26-0110(代)
----------	------------	------	-----------------

事務事業の名称	街頭活動強化事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	交番の地域警察官によるパトロールや訪問による街頭活動を強化し、住民の安心感と体感治安の向上を図る。	
事業概要	各交番（14箇所）に交番相談員2人を配置することにより、交番における不在時間を解消するとともに、地域警察官によるパトロールや訪問による街頭活動を強化して住民の安心感と体感治安の向上を図るもの。		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	街頭活動時間	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		800.00	800.00	800.00	800.00	
式・定義	交番勤務員一人当たりの街頭活動（パトロール+訪問）時間を1当務約30分増加して、年間800時間。	実績値	733.10	778.30	795.70	774.20		
		達成率		97.30	99.50	96.80		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	58,049	66,428
うち一般財源(千円)	58,049	66,428

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

交番相談員を平成26年4月に新設した東出雲交番へ2人、平成27年4月に新設した斐川交番へ2人配置し、12交番24人体制から14交番28人体制となった。平成27年4～6月中における交番の1日当たり平均不在時間は2.2分で、昨年度年間平均（約5分）と比較して2.8分減少している。しかし、4～6月中における交番勤務員1人当たりの街頭活動時間は、月約6.1時間で、昨年度年間平均と比較して約2時間減少している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

交番相談員を交番新設当初から配置することにより、交番の不在時間の解消、及び警察官の街頭活動時間の確保に大きく貢献した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

街頭活動時間の増加に伴う書類作成等により、交番に戻ってからの勤務時間が増加することが懸念される。今後10年間で約4割の警察官が入れ替わり、新規採用者の大半が交番に配属され研修を受けるが、書類作成等に時間を要するため、交番内での勤務時間の増加が予想され、パトロールや訪問活動に時間を費やすことが困難になる可能性がある。

②困っている状況が発生している「原因」

街頭活動により実績が増えるほど書類作成も増加する。大量退職時代を迎えた新規採用者の増加により、書類作成等の能力向上を図る現行の教養制度について改善が必要である。

③原因を解消するための「課題」

実習生をはじめとする若手警察官の早期戦力化と指導方法の見直し
交番内での勤務時間を減少させるための事務の合理化
中高年警察官のスキルアップ

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

現在も実施中である若手警察官の早期戦力化の継続実施、街頭活動時間を確保するための事務の合理化、若年層を指導する中高年警察官の指導力・執行力のスキルアップを図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）